

# 取扱設置説明書

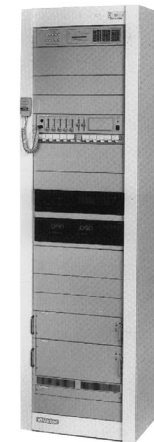
先進の個性



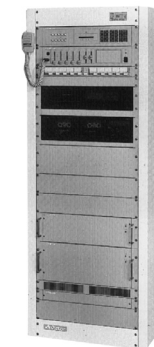
## EM-D200/100シリーズ 通常専用放送装置



お客様ご相談センター  
〒113 東京都文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル 電話 (03) 5684-9311  
〒543 大阪市天王寺区小橋町10-16 大阪ビクタービル 電話 (06) 765-4161  
システム事業部  
〒192 東京都八王子市石川町2969-2 電話 (0426) 60-7243 (ダイヤルイン)



EM-D200シリーズ



EM-D100シリーズ

— お買いあげありがとうございます —

ご使用前にこの「取扱設置説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。  
お読みになったあとは、大切に保存してください。



私たちは環境・資源を大切にしています。  
この取扱設置説明書はエコマーク認定の再生紙（古紙100%）  
を使用しています。

## 目次

特長	2	通常放送のしかた	7
安全上のご注意	2	設置説明	
使用上のご注意	2	1. ラックの設置	8
保証とアフターサービスについて	3	2. 各パネルユニットの組み込みと内部セッティング	10
外観図	3	3. 接続方法	15
ネームカードの記入のしかた	4	仕様	20
各部の名称と使いかた	5		

## 特長

- 出力回線は10回線ごとに増設できます。
- モニターは5回線切り換え可能。5台のパワーアンプが監視できます。
- ミキサーは入力レベル切換付きで、ラインミキサーとしても使用可能。
- 呼び出し放送、定時放送をするとき他の放送へミュートがかかけられます。

## 安全上のご注意

- 安全にお使いいただくために
  - ・セット内部に触れることは危険なうえに故障の原因となります。内部の点検や調整は販売店へお任せください。
  - ・ぬれた手で使用しないでください。本機の内部に水や金属、燃えやすいものを入れないでください。火災や感電の原因となります。
- 本機に異常が起きたら
  - ・変な音やにおいやけむり等が出るなどの故障状態のまま使用すると危険です。すぐ販売店に修理をご依頼ください。

## 使用上のご注意

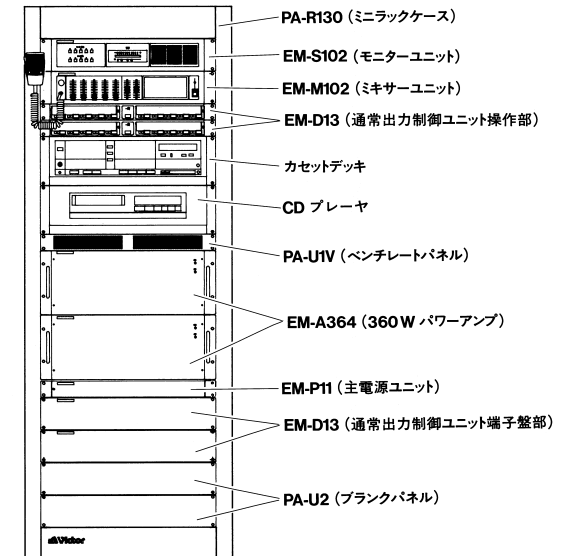
- モニターユニット (EM-S102) の「アンプ切換」スイッチを2ヶ以上押した場合は、番号の小さい方が優先されます。「モニター音量」スイッチを2ヶ以上押した場合は、数字の大きい方が優先されますが「切」が押してあるときは「切」が優先されます。

## 保証とアフターサービスについて

- 保証書の記載内容ご確認と保存について  
この商品には、各パネルユニットごとに保証書を別途添付しております。保証書はお買上げ販売店でお渡ししますので、所定事項の記入及び記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。
- 保証期間について  
保証期間は、お買上げ日より1年間です。保証書の記載内容により、お買上げ販売店が修理致します。その他詳細は保証書をご覧ください。
- 保証期間経過後の修理について  
保証期間経過後の修理については、お買上げ販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により有料にて修理致します。
- アフターサービスについてのお問い合わせ先  
その他アフターサービスについてご不明の点は、お買上げ販売店、または別紙サービス窓口案内をご覧ください。最寄りのサービス窓口にご相談ください。
- 修理を依頼されるときは  
修理を依頼されるときは、お手数でももう一度使用状況をお調べください。それでも具合が悪いときは、非常電源専用ブレーカーを切って次のことをお知らせください。
  - ・機種名：ラック上部の型式名表示をご覧ください。（例）EM-D200 シリーズ
  - ・故障の状態をできるだけ詳しく
  - ・ご購入年月日 ご住所 ご氏名 電話番号

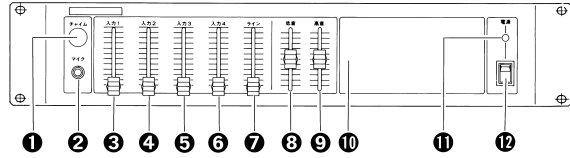
## 外観図

・720W 20回線の例(ミニラック)

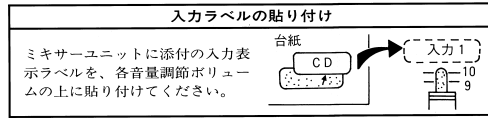




## (2) ミキサーユニット(EM-M102)の使いかた



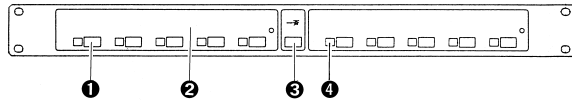
- ① チャイムスイッチ (別売DM-2取付時) このスイッチを押すと4音チャイムを放送できます。
- ② マイク入力ジャック アナウンスマイク(別売: MV-P360)を接続してください。音量は内部で調節されています。
- ③ 入力1 音量調節
- ④ 入力2 音量調節
- ⑤ 入力3 音量調節
- ⑥ 入力4 音量調節
- ⑦ ライン音量調節
- ⑧ 音質調節(低音)
- ⑨ 音質調節(高音)
- ⑩ ラジオユニット 組み込みスペース ラジオユニット(別売:P-R33)の組み込みスペースです。組み込まれているときは、ラジオユニットの取扱説明書をご参照ください。
- ⑪ 電源表示灯(緑) 放送中に点灯します。
- ⑫ 電源スイッチ ラック全体の電源スイッチです。"入"で放送できます。放送しない時は"切"にしてください。



### ミュートについて

・アナウンスマイク、W.チャイム、通常リモコンマイク、4音チャイムの放送により入力1～4、ライン、ラジオにミュートがかかります。(ミュートレベルは内部であらかじめ調節されています)

## (3) 通常出力操作器(EM-D13)の使いかた



- ① 回線選択スイッチ 放送場所を選択します。押すと"入"、もう一度押すと"切"になります。
- ② ネームカード 放送先名称を記入したネームカードを入れます。
- ③ 「一斉」スイッチ 全回線一斉に放送するとき押ししてください。スピーカーの音量調整器の位置に関係なく、最大音量で放送できます。
- ④ 作動表示灯 回線選択スイッチまたは一斉スイッチを押すことによって緑色に点灯し、その回線に放送できることを示します。

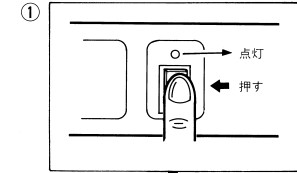
●通常出力制御器(EM-D13)を2台以上使用する時、「一斉」スイッチは次の2通りに設定できます。

- 1) その通常出力制御器だけを一斉放送にする。(一斉) 内部の基板上的スイッチで、どちらにするか選択できます。
- 2) 全部の通常出力制御器を一斉放送にする。(全一斉) (出荷時は「全一斉」になっています)

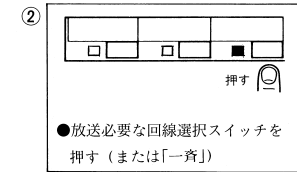
## 通常放送のしかた

### 1 マイク放送のしかた

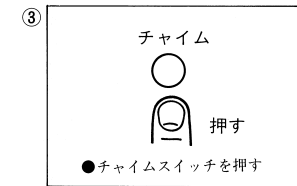
1. 電源スイッチ(ミキサーユニット)を押してください。



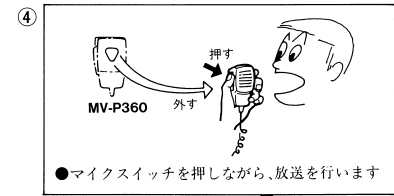
2. 通常出力操作器の回線選択スイッチ(または一斉)で必要な放送場所を選択してください。回線選択スイッチを切る必要がある場合は、もう一度その回線選択スイッチを押してください。



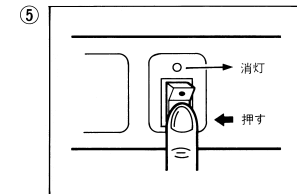
3. (ミキサーユニットに別売 DM-2 が組み込まれている場合) 必要に応じてチャイムスイッチを押し、チャイムを鳴らします。



4. マイクを取り、マイクスイッチを押しながら放送してください。(別売: MV-P360)



5. 放送が終了したらミキサーユニットの電源スイッチを"切"にし、放送を解除してください。

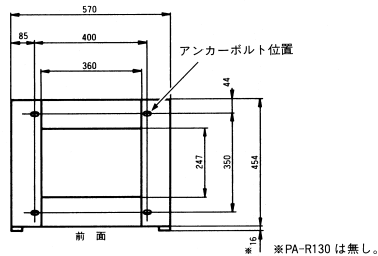


# 設置説明

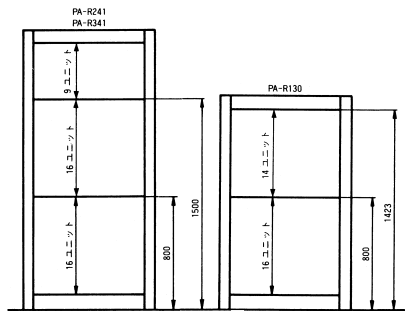
## 1 ラックの設置

### 1.1 ラックの設置

- 1) ラックは、アンカーボルトで床面に固定してください。  
ボルトは M10～M12 を 4 本埋め込んでください。



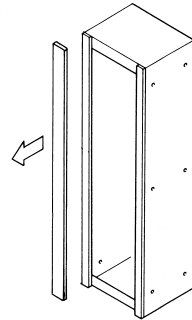
- 2) EM-D13 の端子板部の下段に 1～2H のブランクパネル部を設けその上部に端子板部を取り付けることにより外部との接続が容易に行えます。
- 3) モニターユニット (EM-S102)、ミキサーユニット (EM-M102)、通常出力操作器 (EM-D13) の操作部は、床面から 800～1500 mm の範囲内に取り付けると、操作上便利です。



- 4) 電力増幅器は発熱しますので、他の機器に影響を与えないようなるべくラック最上部に設置されることをおすすめします。(PA-R241, PA-R341)

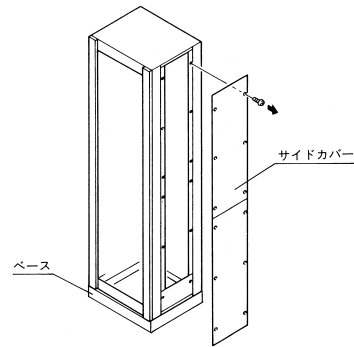
- 5) スクリューカバーの取りはずしについて

PA-R241, PA-R341 のスクリューカバーは手前側に引くことによりはずれます。



- 6) サイドカバーとベースの取りはずしについて (PA-R341 のみ)

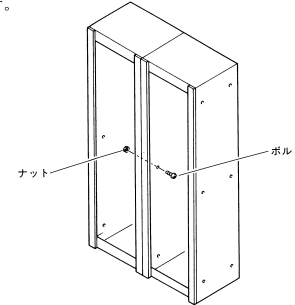
両側のサイドカバーを外すことにより、側面が開放できます。  
ラック最下部のベースは、ボトムカバー内側のスクリュー 6 本をはずすことにより取りはずすことができます。



- 7) ラックの接合

PA-R241, R341 は両サイド (各 6) の樹脂カバーをはずし、ボルト (M4～M6) で複数のラックを接合することができます。

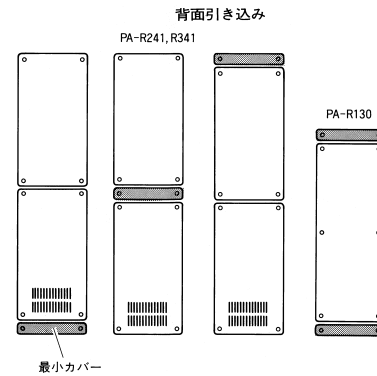
PA-R341 の場合、サイドカバーをはずしてラックを接合することにより、ラック間のコードの接続が容易になります。



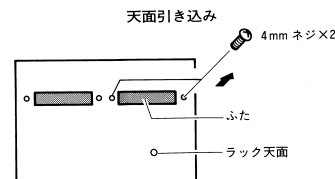
### 1.2 ラックへの外線引き込み (PA-R241, R341, R130)

ラック内へ外線を引き込む場合は、底面以外に背面、天面より行えます。

背面は最小カバーを外し、他のカバーを組み変えることにより、下部、中央部、上部の 3 通りができます。(工場出荷時は下部) 但し PA-R130 は、上部、下部のみです。



天面の場合は上面左右のどちらかの穴を使用します。  
ネジを 2 本外し、ふたを取ります。



### 1.3 ファンユニット PS-R413 の組み込み

- 1) ファンユニットが必要な場合

- 電力増幅器の合計出力 (W) 数が、720 W 以上になる場合はファンユニットを設置してください。
- ファンユニットは 2 台必要です。

720 W 以上になる場合	
EM-A364 (360 W)	2 台以上
EM-A244 (240 W)	3 台以上
EM-A163 (160 W)	5 台以上
EM-A083 (80 W)	9 台以上

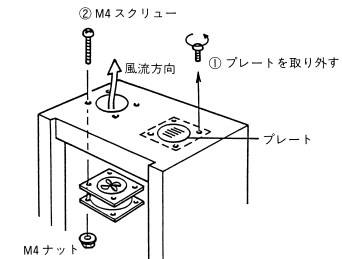
- 2) 取り付け方

- ① トップカバーのプレートを取り外します。
- ② ファンユニットは添付のスクリューを利用し、トップカバーへ取り付けます。  
(ファンユニットとトップカバーの間にすき間がありますとファンの回転中に、騒音を発する恐れがあります。)

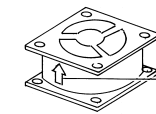
- ③ パワーコード接続

ファンユニットとパワーコードの接続は差し込み式になっておりますので、十分差し込んで使用してください。差し込み不十分ですとファンユニットの故障の原因になる場合も有ります。

又、AC プラグは EM-P11 の AC アウトレット CN-P2～P4 (スイッチ連動) のいずれかに差し込んでください。



ラック外部へ風が流れるようにファンユニットを取り付けます。



## 2 各パネルユニットの組み込みと内部セッティング

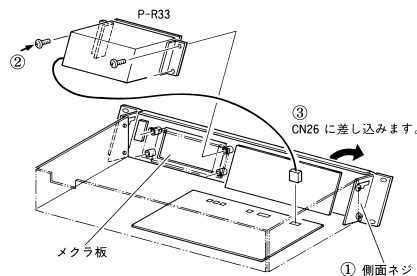
### 2.1 ミキサーユニット (EM-M102) の組み込みとセッティング

#### (1) ラジオチューナー (P-R33) の組み込み

ラジオチューナーは、EM-M102 ミキサーユニットに組み込みます。

下の手順で組み込んでください。

- ① パネルを固定している側面のネジ4本を軽く緩めてパネルを倒し、ネジ4本を外しメクラ板を取り除いてください。
- ② ラジオユニットを前記部に当てはめてネジ4本で固定します。
- ③ 図のように接続コネクタを基板内のCN-26に差し込みます。
- ④ パネルを元に戻し側面のネジを締め固定してください。



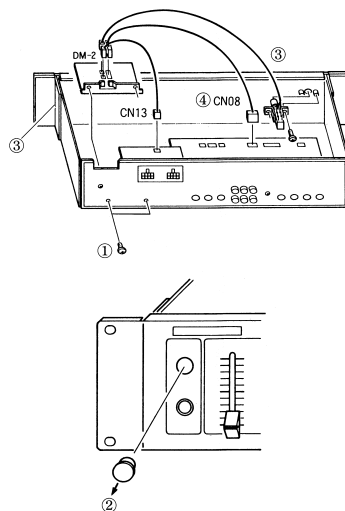
- ⑤ アンテナの接続については、P-R33の設置説明書をご参照ください。

#### (2) 4音チャイム (DM-2) の組み込み

チャイムユニットも、EM-M102 ミキサーユニットに組み込みます。

下の手順で組み込んでください。

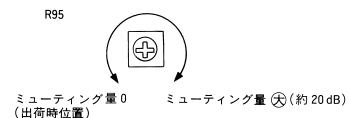
- ① 背面にチャイム本体を添付のネジで固定します。
- ② パネル面の穴ふさぎを取り除いてください。
- ③ パネルを固定している側面のネジ4本を軽く緩めてパネルを倒し、接続ワイヤー付きのスイッチ (DM-2に付属) を取り付けてください。
- ④ ワイヤーを図のようにCN8とCN13(両方共にEM-M102に付属) に接続してください。



#### (3) 内部の音量調整

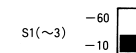
EM-M102の内部基板上に次のような音量のセット個所があります。調整する時はパネルネジ4本をはずし、前へ引き出してください。

- ① アナウンスマイク音量 (AN. MIC)  
EM-M102のフロントパネルのアナウンスマイクの音量を調節します。(出荷時センター位置)
- ② 通常リモコン音量 (R. MIC)  
通常リモコン接続時にその音量を調節します。
- ③ W. チャイム音量 (W. CHIME)  
PA-T130, PA-T30, PA-W53などの音量を調節します。
- ④ ミューティング量 (MUTE)  
アナウンスマイク、通常リモコン、W.チャイム、4音チャイムを放送すると、他の入力1~4、外部の入力にミューティングをかけ音を小さくします。  
R95を右へ回すほどミューティング量は大きくなり入力1~4の音はより小さくなります。

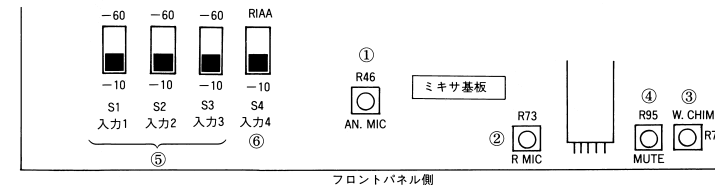
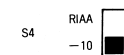


#### 入力レベルの設定

- ⑤ 入力1~3, 入力レベル切り換えスイッチ  
S1~S3は入力1~3の入力レベルを切り換えるスイッチです。  
リアパネル側にするとは-60dBsとなり、マイク用となります。  
CD, テープデッキなどを接続する時は、フロントパネル側に切り換え、-10dBsとしてください。

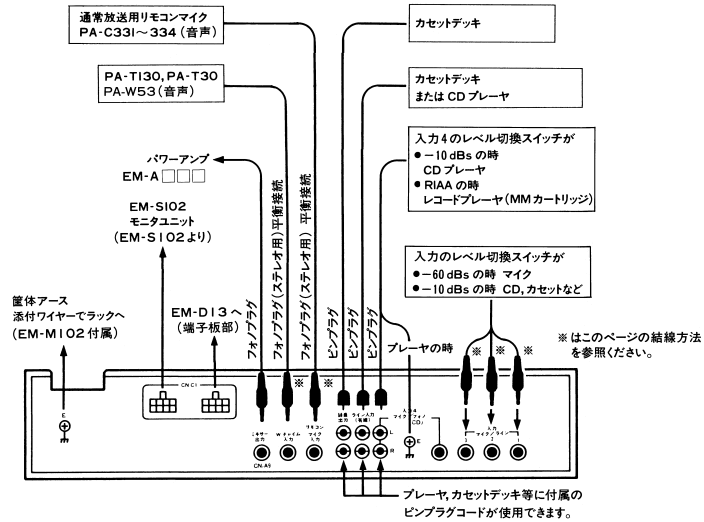


- ⑥ 入力4, 入力レベル切り換えスイッチ  
入力4の入力レベル切り換えスイッチは、リアパネル側にするレコードプレーヤ用となります。(RIAA)  
フロントパネル側にするとは-10dBsとなり、CD, カセットデッキなどに接続使用できます。



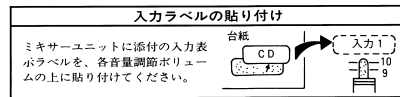
フロントパネル側

(4) EM-M102 ミキサーの入出力の接続



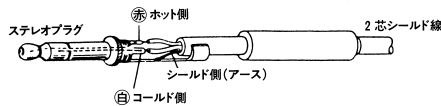
- ・入力1~3は電子平衡入力です。50m程度マイクケーブルを延長できます。
- ・R.マイク, W.チャイムはトランスによる平衡入力です。
- ・ミキサー出力はトランスによる平衡出力です。
- ・入力4は不平衡でフォノジャック、ピンジャックのどちらでも使用できますが、同時使用は避けてください。
- ・入力1~4をすべて-10dBs側に切り換えると、ライン入力を合わせて5chのラインミキサーになります。

- ・入力1~4, ライン入力に接続する機器が決まったら、添付の入力表示ラベルをパネルの音量調節ボリュームの上に貼り付けてください。



■ フォノプラグの接続(平衡接続ケーブルの結線方法)

結線図

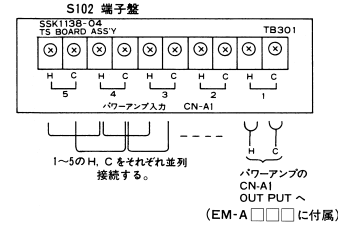


(注)・単芯コードを使用し、モノラルプラグ(不平衡型)として使用の場合はシールド側とコールド側を結びます。

2.2 モニターユニット(EM-S102)の接続

(1) CN-A1の接続

- ・パワーアンプが1系統の場合  
(1台、又は並列運転で1系統とみなせる時)



上図のように1のH, Cに接続します。  
2~4のポジションでもモニター音が出るようにしたい場合は、H, Cそれぞれを並列接続してください。

- ・パワーアンプが2系統以上の時  
パワーアンプを並列接続せず、個々にモニターしたい時は、それぞれのアンプ出力CN-A1をEM-S102の入力の1~5へ別々に接続してください。

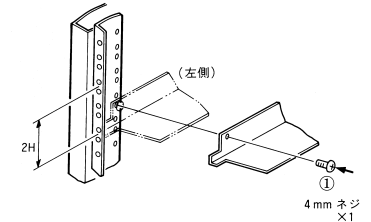
(2) CN-C1の接続

EM-M102又はEM-D13のCN-C1へ接続してください。

2.3 電力増幅器(EM-A364, EM-A244, EM-A163, EM-A083)の組み込みと接続

(1) 組み込みのしかた

- ① ラックのユニット組み込み位置に棚板(付属)を添付のネジで左右に取り付け後、ユニットを組み込みます。

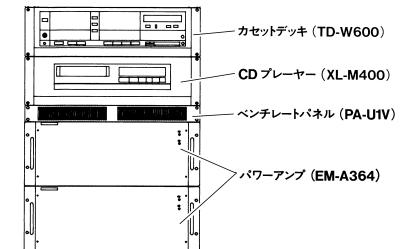


- ② 複数台を同一ラック内に組み込む場合は、ブランクパネル(PA-U1)、ベンチレートパネル(PA-U1V)を使い、ユニット間に1H以上の空間を取ってください。空間を取らずに積み重ねる場合の台数は、下表に従ってください。

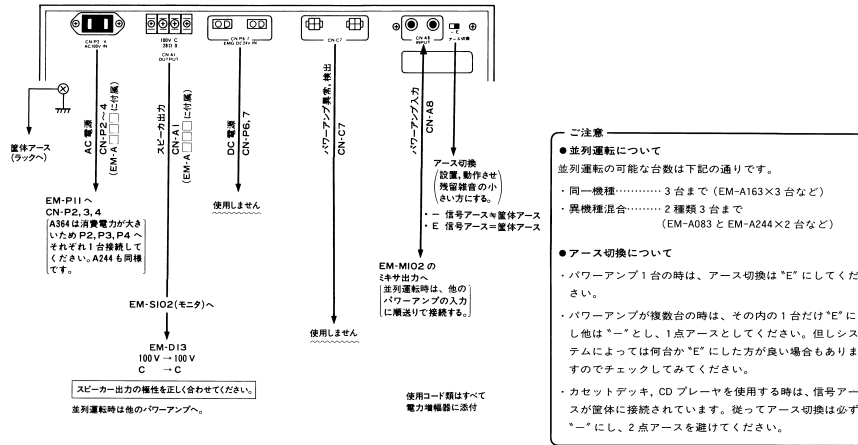
EM-A083	80W	3台まで
EM-A163	160W	3台まで
EM-A244	240W	2台まで
EM-A364	360W	2台まで

- (注)・ミキサーユニット、カセット等とは1H以上の空間を取ってください。  
・電力増幅器は発熱しますので他の機器に影響を与えないように、ラック上部に取り付けることをおすすめします。

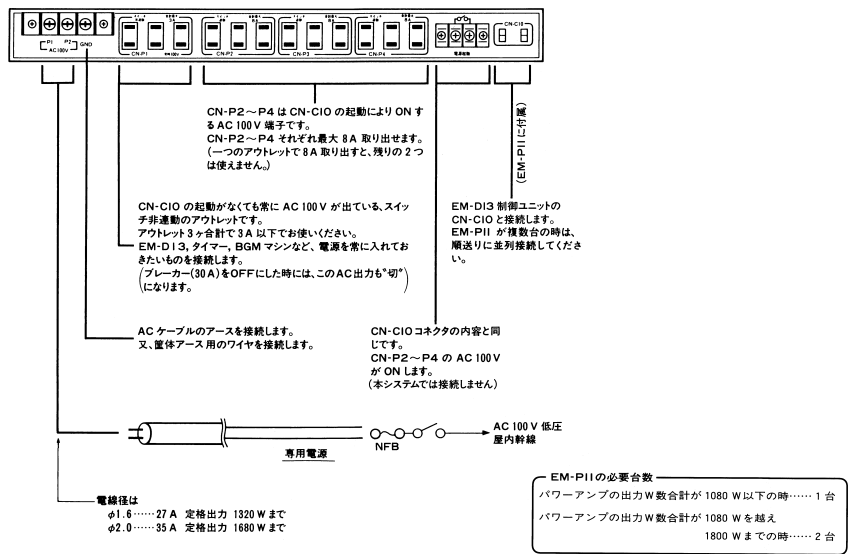
・ベンチレートパネル(PA-U1V)で1Hの空間を取った例



(2) 接続のしかた



2.4 主電源ユニット(EM-P11)の接続



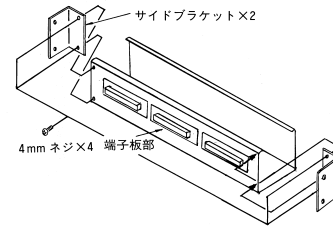
2.5 通常出力制御器(EM-D13)の組み込みと接続

(1) 組み込み

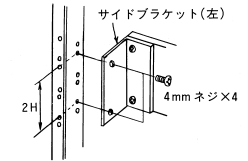
EM-D13は10回線プラス一斉のスイッチ部(1H)と端子板部(電源部も含む、2H)から成ります。

- ・スイッチ部はモニターユニット(EM-S102)やミキサーユニット(EM-M102)などと共に、操作しやすい部分に設置してください。
- ・端子板部はラック下部の適当な所に設置してください。(下図参照)

- 1) 付属のサイドブラケットを、端子板部の左右に添付ネジ(4mm×4)で取り付ける。
- 2) 添付のブランクパネル(2H)を、添付のパネルネジ(5mm×4)で取り付ける。



- 2) ラックのパネル取付部側に、添付ネジ(4mm×4)で取り付ける。



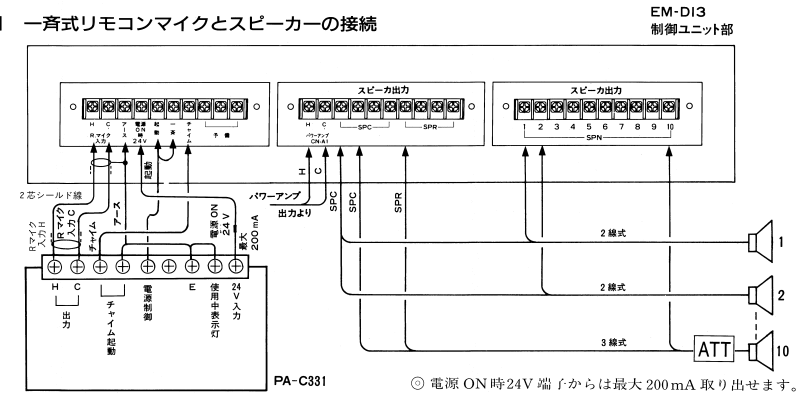
- 3) 外線の結線を行う。
- 4) 添付のブランクパネル(2H)を、添付のパネルネジ(5mm×4)で取り付ける。

端子板部はラックの下部に設置されますが、端子板の下に1H~3H程度のブランクパネルを入れておきますと、結線、メンテナンス共にし易くなります。

- ・スイッチ部から出ているCN-A10は、長さが2mあります。これを端子板部のCN-A10に接続してください。

3 接続方法

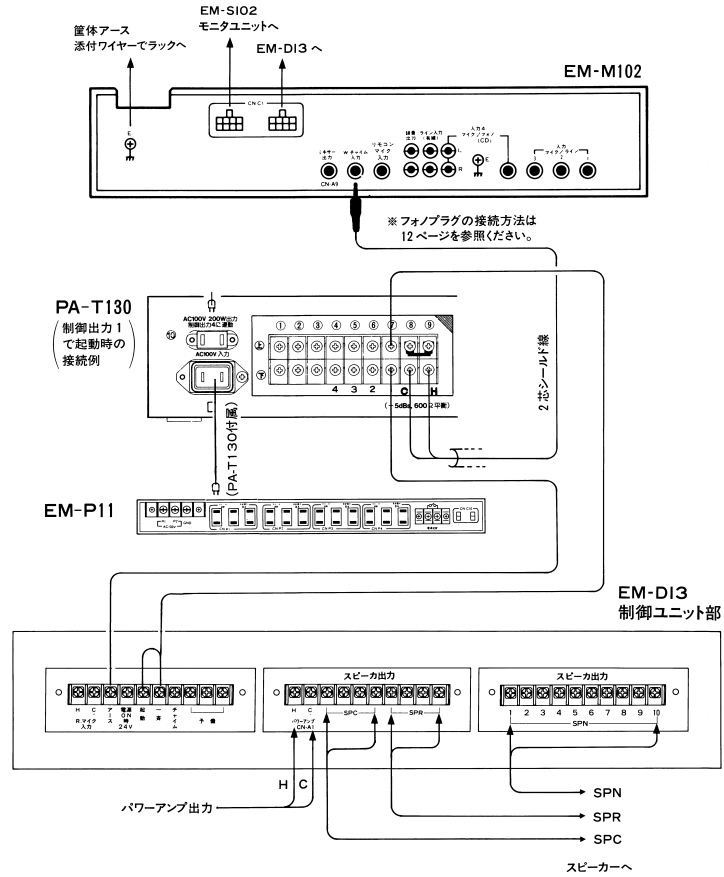
3.1 一斉式リモコンマイクとスピーカーの接続



リモコンマイク接続について  
接続線は1線あたり10Ω以下としてください。  
音声線(PA-C331の出力~EM-D13のR. マイク入力)は対撚り線でも可。但しノイズに対して弱くなります。  
2台以上使用の時は全て並列接続してください。4台まで使用できます。但しリモコンマイクが同時に電源ONになっていると音声レベルは低下しますのでご注意ください。  
音声レベルの低下  
2台 ON時 -6dB  
3台 ON時 -10dB  
4台 ON時 -12dB

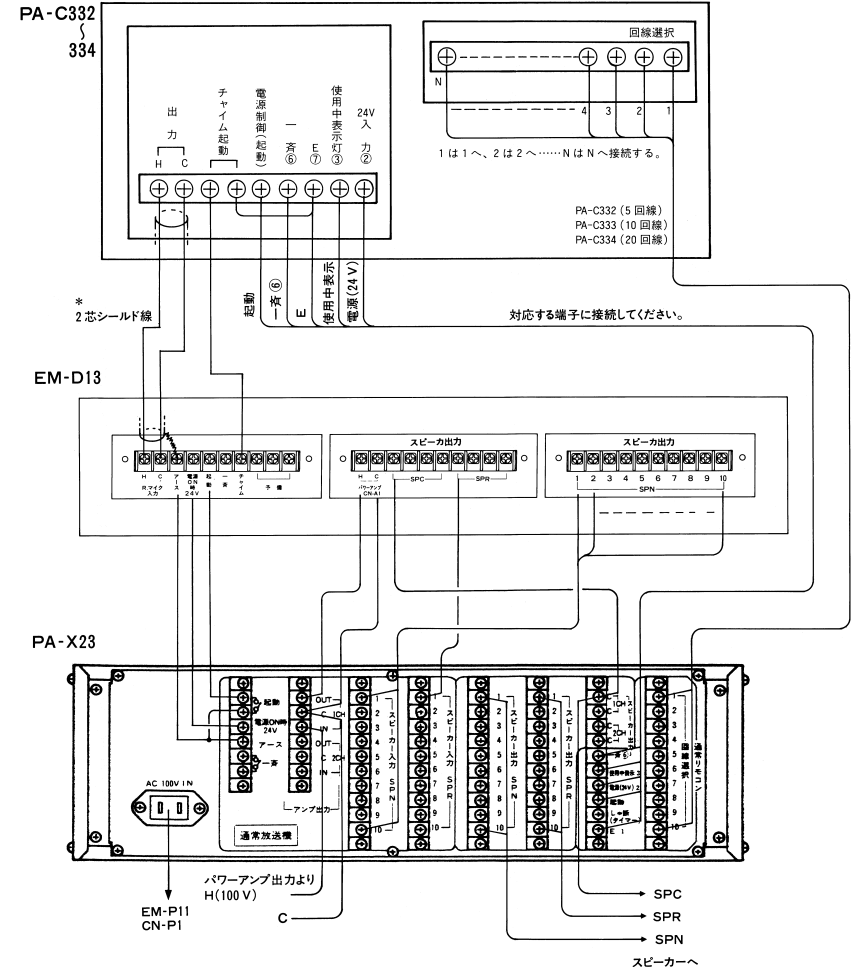
スピーカー接続について  
・各回線のスピーカー負荷合計は150Wを越えないようにしてください。  
・スピーカーは100Vライン専用スピーカーを使用してください。  
・スピーカー線と他の線(リモコン線、マイク線など)は絶対に同一配管としないでください。

### 3.2 プログラムチャイム(PA-T130)の接続



### 3.3 回線別リモコンマイクとスピーカー制御器(PA-X23)の接続

PA-X23は直接回線別にリモコン制御できない通常放送装置を回線別にリモコンできるようにするリレーボックスです。(RB-51と同機能)

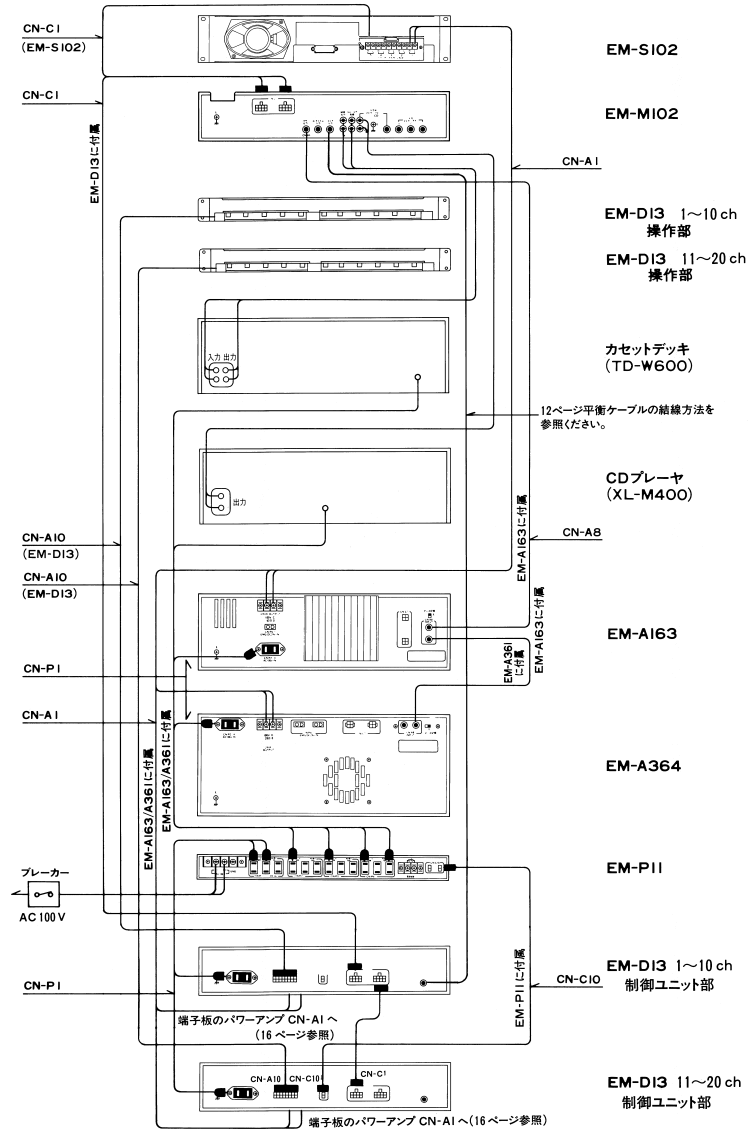


詳細は PA-X23 の設置説明書をご覧ください。

\* 対燃り線でも可。但しノイズに対して弱くなります。

### 3.4 ラック背面の接続例

パワーアンプ160W,360Wに20回線を追加した増設システムの場合。



### 3.5 ラック中継コード一覧表

コネクタNo.	形状	添付ユニット	員数	部品番号
オーディオ系		EM-A083	1	SS41489-00L(2m)
		EM-A163	1	-00M(2m)
		EM-A244	1	-00F(1.5m)
		EM-A364	1	-00K(1.5m)
オーディオ系		EM-A083	1	SS30304-001
		EM-A163	1	1m フォノコード
		EM-A244	1	
		EM-A364	1	
		EM-M102	1	
パワー系		EM-A083	1	QMP9023-001Y
		EM-A163	1	2m パワーコード
		EM-A244	1	QMP0390-250
		EM-A364	1	2m パワーコード
コンロール系		EM-M102	1	SS47420-001 1m 8P モレックスコード
		EM-S102	1	SS47732-0C1 2m 8P モレックスコード
		EM-P11	1	SS47553-C10 1m 2P モレックスコード
		EM-M102	1	SS47420-00A 50cm 緑色
		EM-A083	1	
		EM-A163	1	
		EM-A244	1	
		EM-A364	1	

## 仕様

本機の定格及び外観は、改善のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

### EM-D13 通常出力操作器

#### 定 格

出力制御	10回線および一斉(作動表示灯付き)	電 源	AC 100V、50/60Hz
入力端子	通常リモコン入力(H.C)×1回路 パワーアンプ入力(H.C)×1回路	消費電力	5.6W
	起動×1、一斉×1、 チャイム(時報)信号入力×1、 アース×1、予備×3	マウントサイズ	操作部：EIA 1H、奥行 50mm(パネル面より) 制御部：EIA 2H、奥行 200mm(パネル面より)
出力端子	スピーカー-SPN(SP)×10 SPR(SW)×4 SPC(C)×4 電源ON時24V出力×1 (最大 200mA)	重量	操作部：0.5kg、制御部：2.2kg
		仕 上	ライトグレー焼付塗装 (マンセル 3Y 6/0.6 近似) (日産工 M1-1005 近似)

### EM-P11 主電源ユニット

#### 定 格

電源供給部	AC100V 入力 30A サーキットブレーカー×1	消費電力	5W
AC100V 出力	スイッチ連動：9(合計最大8A×3) スイッチ非連動：3(合計最大3A) サービスコンセント：1(最大2A)	マウントサイズ	EIA 1H、奥行 300mm(パネル面より)
電源起動端子	付(メーク接点) 2Pモレックス×2、端子板×1回路	重量	3kg
電 源	AC100V、50/60Hz	仕 上	ライトグレー焼付塗装 (マンセル 3Y 6/0.6 近似) (日産工 M1-1005 近似)
		外形寸法	幅482×高さ44×奥行300mm

### PA-U113 ラックマウント金具(カセットデッキ用)

#### 定 格

適合機種	カセットテープデッキ(TD-W603)
マウントサイズ	EIA 3H
重量	900g
仕 上	ライトグレー焼付塗装(マンセル 3Y6/0.6 近似、日産工 M1-1005 近似)

### PA-U123 ラックマウント金具(CDプレーヤー用)

#### 定 格

適合機種	CDプレーヤー(XL-M403)
マウントサイズ	EIA 3H
重量	900g
仕 上	ライトグレー焼付塗装(マンセル 3Y6/0.6 近似、日産工 M1-1005 近似)

### EM-S102 モニターユニット

#### 定 格

入力レベル	100V定電圧ライン(電力増幅器出力を受ける)	マウントサイズ	EIA 2H、奥行65mm (パネル面より)
入力回路数	5回路	重量	1.3kg
定格出力	1W(モニター音量最大時)	仕 上	ライトグレー焼付塗装 (マンセル 3Y 6 0.6 近似) (日産工 M1-1005 近似)
音量調節器	非常時プリセット4段、通常時5段切換	外形寸法	幅428×高さ88×奥行65mm (パネル面より)
モニタースピーカー	12.5×7.85cm 積円スピーカー		
出力監視メーター	11点 LED バージグラフ		
電 源	DC 24V、60mA(共通制御ラインより供給を受ける)		

### EM-M102 ミキサーユニット

#### 定 格

入力回路	入力レベル	入力インピーダンス	コネクター	周波数特性	50Hz~15kHz ±2dB
入力1・2・3	マイク/ライン 切換	1kΩ 電子平衡	複式フォノジャック	歪 率	0.5%以下(50Hz~15kHz)
	-60dBs/-10dBs			信号対雑音比	54dB以上
入 力 4	フォノ/ライン 切換	50kΩ	複式フォノジャック	電 源	DC 24V、30mA(共通制御ラインより供給を受ける)
	-54dBs(RIAA)		ピンジャック(L-R)	マウントサイズ	EIA 2H、奥行200mm (パネル面より)
	/-10dBs			重量	3kg
アナウンスマイク	-50dBs(AGC付)	10kΩ	フォノジャック	仕 上	ライトグレー焼付塗装 (マンセル 3Y 6/0.6 近似) (日産工 M1-1005 近似)
ラ イ ン	-10dBs	10kΩ	ピンジャック(L-R)		
W・チャイム	-6dBs	1kΩ 平衡	複式フォノジャック		
リモコンマイク	0dBs	1kΩ 平衡	複式フォノジャック		
ラ ジ オ	-10dBs	50kΩ	専用コネクター		
4音チャイム	-16dBs	50kΩ	専用コネクター	4音チャイム	DM-2 組込可能
出力回路	出力レベル	出力インピーダンス	コネクター	AM / FM ラジ オ	P-R33 組込可能
ライン出力	0dBs	300Ω 平衡	複式フォノジャック	アナウンスマイク	MV-P360 適合
録音出力	0dBs	1kΩ	ピンジャック(L-R)	外形寸法	幅482×高さ88×奥行200mm (パネル面より)
音 質 調 節	低音、高音独立 (100Hz、10kHz ±12dB)				

### EM-A083 80W パワーアンプ

#### 定 格

適合規格	建設省規格 I 級	消費電力	⊙63W、定格出力時162W
定格出力	80W	消費電流	4.6A(DC24V、定格出力時)
最大出力	100W	マウントサイズ	EIA 3H、奥行200mm(パネル面より)
負荷インピーダンス	125Ω(100V定電圧ライン)	重量	10kg
周波数特性	50Hz~15kHz(+0/-3dB)	仕 上	ライトグレー焼付塗装 (マンセル 3Y 6/0.6 近似) (日産工 M1-1005 近似)
歪 率(1kHz)	1%以下		
入力レベル	0dBs(=0.775V) ±5dB可変	外形寸法	幅482×高さ132×奥行200mm (パネル面より)
入力インピーダンス	75kΩ(電子平衡)		
信号対雑音比	75dB以上(電力増幅器単品測定)		
電 源	AC 100V、50/60Hz DC 24V(非常電源部より供給を受ける)		

## EM-A163 160W パワーアンプ

### 定 格

適合規格	建設省規格 I 級	消費電力	⊙114W、定格出力時321W
定格出力	160W	消費電流	9.3 A (DC24V、定格出力時)
最大出力	200W	マウントサイズ	EIA 3H、奥行200mm(パネル面より)
負荷インピーダンス	63Ω (100V定電圧ライン)	重量	11.5kg
周波数特性	50Hz～15kHz(+0/-3dB)	仕 上	ライトグレー焼付塗装 (マンセル 3Y 6/0.6 近似) (日塗工 M1-1005 近似)
歪 率(1kHz)	1%以下	外形寸法	幅482×高さ132×奥行200mm (パネル面より)
入力レベル	0dBs(=0.775V)±5dB可変		
入力インピーダンス	75kΩ(電子平衡)		
信号対雑音比	75dB以上(電力増幅器単品測定)		
電 源	AC 100V、50/60Hz DC 24V(非常電源部より供給を受ける)		

## EM-A244 240W パワーアンプ

### 定 格

適合規格	建設省規格 I 級	消費電力	⊙178W、定格出力時488W
定格出力	240W	消費電流	14.1A (DC24V、定格出力時)
最大出力	300W	マウントサイズ	EIA 4H、奥行100mm(パネル面より)
負荷インピーダンス	42Ω (100V定電圧ライン)	重量	15kg
周波数特性	50Hz～15kHz(+0/-3dB)	仕 上	ライトグレー焼付塗装 (マンセル 3Y 6/0.6 近似) (日塗工 M1-1005 近似)
歪 率(1kHz)	1%以下	外形寸法	幅482×高さ177×奥行200mm (パネル面より)
入力レベル	0dBs(=0.775V)±5dB可変		
入力インピーダンス	75kΩ(電子平衡)		
信号対雑音比	75dB以上(電力増幅器単品測定)		
電 源	AC 100V 50/60Hz DC 24V(非常電源部より供給を受ける)		

## EM-A364 360W パワーアンプ

### 定 格

適合規格	建設省規格 I 級	消費電力	⊙230W、定格出力時666W
定格出力	360W	消費電流	19.5A (DC24V、定格出力時)
最大出力	420W	マウントサイズ	EIA 4H、奥行200mm(パネル面より)
負荷インピーダンス	28Ω (100V定電圧ライン)	重量	18kg
周波数特性	50Hz～15kHz(+0/-3dB)	仕 上	ライトグレー焼付塗装 (マンセル 3Y 6/0.6 近似) (日塗工 M1-1005 近似)
歪 率(1kHz)	1%以下	外形寸法	幅482×高さ177×奥行200mm (パネル面より)
入力レベル	0dBs(=0.775V)±5dB可変		
入力インピーダンス	75kΩ(電子平衡)		
信号対雑音比	75dB以上(電力増幅器単品測定)		
電 源	AC 100V、50/60Hz DC 24V(非常電源部より供給を受ける)		

## PA-R341 側開式ラックケース

### 定 格

ユニット取付方法	1,826mm (EIA 41 ユニット)	仕 上	アイボリー焼付塗装 (マンセル 4Y 8/0.9 近似) (日塗工 M20-360 近似)
ユニット取付最小間隔	44mm	外形寸法	幅570×高さ2,000×奥行470mm
重 量	55kg		

## PA-R241 標準ラックケース

### 定 格

ユニット取付寸法	1,826mm (EIA 41 ユニット)	仕 上	アイボリー焼付塗装 (マンセル 4Y 8/0.9 近似) (日塗工 M20-360 近似)
ユニット取付最小間隔	44mm	外形寸法	幅570×高さ2,000×奥行470mm
重 量	55kg		

## PA-R130 ミニラックケース

### 定 格

ユニット取付寸法	1,335mm (EIA 30 ユニット)	仕 上	アイボリー焼付塗装 (マンセル 4Y 8/0.9 近似) (日塗工 M20-360 近似)
ユニット取付最小間隔	44mm	外形寸法	幅570×高さ1,510×奥行454mm
重 量	約40kg		

## PA-U1V ベンチレートパネル

### 定 格

マウントサイズ	EIA 1H
重 量	200 g
仕 上	ライトグレー焼付塗装(マンセル 3Y6/0.6 近似、日塗工 M1-1005 近似)
外形寸法	(幅) 482×(高さ) 44×(厚さ) 15 mm

## PA-U1, PA-U2, PA-U3 ブランクパネル

### 定 格

重 量	PA-U1…………… 270 g PA-U2…………… 460 g PA-U3…………… 650 g
仕 上	ライトグレー焼付塗装(マンセル 3Y6/0.6 近似)
外形寸法	PA-U1……………(幅) 482×(高さ) 44×(厚さ) 15mm PA-U2……………(幅) 482×(高さ) 88×(厚さ) 15mm PA-U3……………(幅) 482×(高さ) 132×(厚さ) 15mm